

【取組のポイント】

- 高齢化する住民の健康維持と景観保全を融合させる「MBT（医学を基礎とするまちづくり）」を提唱し、交流と医療の場を創出する「まちなか医療」という取組を実施
- 重要伝統的建造物群保存地区の橿原市今井町では、外国人を含む短期滞在研究者用ゲストハウスとして、空き家となり老朽化した伝統的建造物を再生。医学生や看護学生のためのシェアハウスや、大学の健康講座やリハビリの場としても空き家を活用
- 奈良県立医科大学や、今井町にMBT研究拠点を開設した早稲田大学とも連携し、地域交流の催しの開催や実証実験を実施

【組織概要】

所在地：奈良県橿原市四条町
 代表者：理事長 細井裕司（奈良県立医科大学 理事長・学長）
 設立：平成28年4月
 構 想：高齢化する住民の健康維持と景観保全を融合させる「MBT（医学を基礎とするまちづくり）」を標榜し、交流と医療の場を創出する「まちなか医療」という取組を実施。また、医学・看護学に関する知見を民間企業に提供し、新たな産業や製品を創出する。

【設立の過程】

- 平成18年 奈良県立医科大学でMBTの前身「住居医学」の研究開始
- 平成24年 奈良県立医科大学と早稲田大学のMBT共同研究が始まる
- 平成26年 橿原市・奈良県・奈良県立医科大学共同のMBTの視点を含むまちづくり提案が内閣官房地域活性化統合事務局、内閣府地域活性化推進室による地域活性化モデルケースとして採用
- 平成27年 医療・観光・交通等を組み合わせた一体的なまちづくりの橿原市地域再生計画が、内閣府の地域再生制度により認定
- 平成28年 一般社団法人MBTコンソーシアム設立

【事業内容】

- 今井町にて、外国人を含む短期滞在研究者用ゲストハウスとして、空き家となり老朽化した伝統的建造物の外観等を保ちながら再生。平成29年10月に完成。
- 今井町の空き地や空き家を活用し、医学生や看護学生に低家賃で貸し出すシェアハウスや、地域住民との種々の交流ができるスペース等を設けた施設等への改修を検討中。
- 健康増進と地域の歴史・文化を融合させた地域交流行事や健康教室等を、奈良県立医科大学、地域団体とともに共同開催。

【効果】

- 空き家の有効活用による地域再生
- 地域の歴史文化資産の有効な活用
- I・Uターン住民の増加
- 人口減少に歯止め
- 地域経済の活性化



今井町にて竣工したゲストハウス

【他団体との連携】

- ・奈良県立医科大学と連携し、金融機関や民間企業の活力を導入して、医師・医学者・看護師と企業との連携を促す。
- ・90社以上の民間企業・団体会員を擁す。
- ・奈良県立医科大学や、今井町にMBT研究拠点を開設した早稲田大学とも連携し、地域交流の催しの開催や実証実験を実施。

